

図、写真：

【図1：*五世紀頃の河内潟⁽⁹⁾、赤枠：八軒浜】

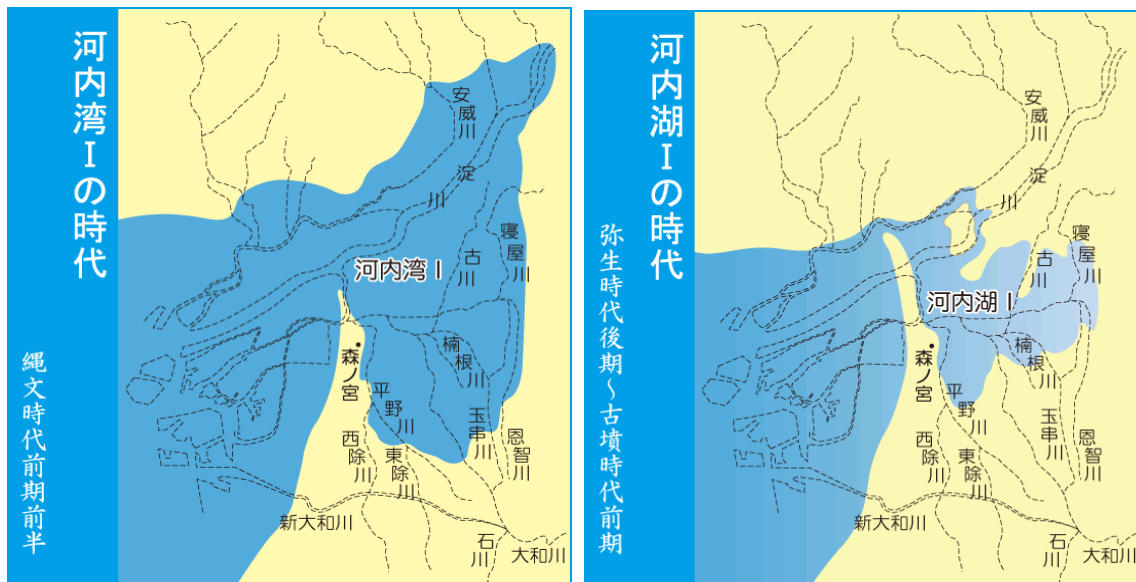
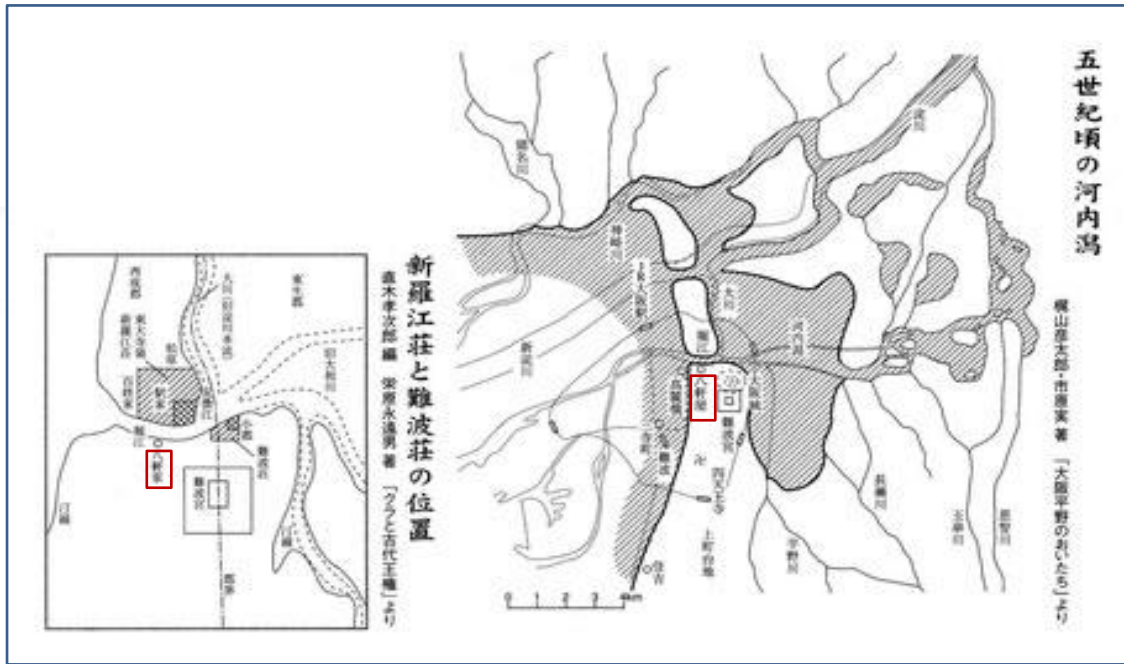


図2：左：約7000～6000年前 海水面が現在の水位より1～2m高く上昇し、河内平野を覆った水面が、東は生駒山麓、南は八尾、北は高槻付近まで広がっていました。偏西風の影響のもとに沿岸州が発達し、現在の松屋町筋付近には砂浜が続いていました。

図3：右：約1800～1600年前 天満長柄の砂州が北へ延びきって、河内平野（河内潟）への海水の流入をささぎり、河内潟は淡水湖となりました。 [in 古代大阪の変遷 | 水都大阪 <https://www.suito-osaka.jp> > history > history_2⁽¹⁰⁾]